

国際地域イノベーター人材養成プログラム 科目概要

① 国際地域イノベーション論

北海道教育大学函館校 地域協働推進センター
人材養成プログラム部門長 金 鉉 善

【「基盤科目」としての「国際地域イノベーション論」】

国際地域イノベーター人材養成プログラム（以下、「国プロ」）は、「基盤科目」「共通科目」「専攻科目」の3つの科目群に分かれており、専攻やグループを超えた学びを履修者に提供することを目的とする。とりわけ、「国プロ」の基盤科目である「国際地域イノベーション論Ⅰ」と「国際地域イノベーション論Ⅱ」で、履修者は「国プロ」を進めるうえで必要とされる基盤知識を最初に学ぶことで「国プロ」の全体的な流れを理解し、これからの取り組みにおいて必要とされる基盤知識を身につけることができる。

【「国際地域イノベーション論」のカリキュラム構成】

「国際地域イノベーション論Ⅰ」（第1クォーター）では、「社会」「法・政策」「教育」「経済」「福祉」「環境」といった幅広い分野の先生がそれぞれの領域と、「地域との関係」「国際との関係」について講義を行った（図1を参照）。続く「国際地域イノベーション論Ⅱ」（第2クォーター）では、①「国際地域イノベーション論Ⅰ」で取り上げた「社会」「法・政策」「教育」「経済」「福祉」「環境」の6分野の基盤知識をもとに、今後どの専攻科目に進むのかについて履修者自らが計画を立てることができるように、そして②専攻科目に進めるうえで必要とされる基盤知識を学習し、地域にイノベーションを起こせる人材とは何かについて再確認することができるように専攻科目の先生を中心に講義を行った（写真1を参照）。



図1



写真1

この「国際地域イノベーション論Ⅰ」と「国際地域イノベーション論Ⅱ」を通して、履修者は、さまざまな地域課題を多角的に捉え解決できる能力を専攻・グループの垣根を超えて学ぶことができたといえよう。そして、さまざまな分野から「地域と国際」についてアプローチすることによって、「地域と国際の関係」を理解し、これから地域に出ていくための基礎知識を身につけることができたといえる。